

コンさる君の

今日も視界良好 代表編

① 「さらなる発展に向けて」 代表取締役 長尾 康行 (中小企業診断士)

皆さん、こんにちは。株式会社フラッグシップ経営代表、中小企業診断士の長尾です。4月27日で法人化してから7年が経過しました。10周年のようなキリの良いタイミングではないので、社内でも何も触れていませんが、3年後の10周年にはこれまでの10年を振り返りながら、今後の10年を描く場を設けたいと考えています。

また、最近では会社の発展には人材の確保、育成が欠かせないと最近では身に染みて感じます。弊社がここまでこれたのも私一人の力ではなく、皆の不断の努力があってこそです。

今後もさらなる発展を目指すならば、まだまだ人材が不足しております。4月からは1名の社員さんに加え、優秀なインターン生にも集まっていたいただき、引き続き組織体制の強化を図っていきます。今月号は新たなメンバーの自己紹介に誌面を譲りますので、読者の皆様も接点がある場合は何卒よろしくお願い申し上げます。



代表取締役 長尾 康行

② 「自己紹介」 ビジネスアナリスト 日野 慎太郎

4月より入社いたしました日野慎太郎です。前職では電機メーカーにて電気回路設計を約10年従事しておりました。民生、車載、産業用製品の設計開発をする中で開発現場、製造現場の問題に対して、経営面から解決すべきことが多いと感じ、経営コンサルタントになることを決意しました。経営者の皆様に頼りにされ、身近に感じてもらえるコンサルタントを目指して、精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

生年月日：1986年2月21日生 星座：うお座 血液型：A型 趣味；旅行、アカペラ



③ 「自己紹介」 インターン生 野稲 大樹

はじめまして。インターン生として入社いたしました、野稲大樹(のいねひろき)と申します。大阪公立大学にて社会学を専攻しているのですが、コンサルタントに興味を持ち始め、今回インターンシップに参加させていただくことになりました。体が細いわたくしですが、太い信念を持つということをもっとに日々勉学に励んでおります。どうぞよろしくお願い致します。生年月日：2000年4月9日 趣味：知らない町の散策

④ 「自己紹介」 インターン生 小甲 智也

今年の4月からインターン生として働かせていただいている、小甲智也(こかぶともや)と申します。大学では経営学の勉強と学生団体でのボランティア活動をしています。その知識を活かしつつ様々な経験をさせていただきたいと考えています。また少しでも早く、業務で貢献できるようにいろいろなことを吸収して頑張っていきます。よろしくお願いします！出身：東京都 趣味：釣り、ドライブ 高校の部活動：野球部 好きな旅行先：熱海

⑤ 「自己紹介」 インターン生 平手 陸翔

4月よりインターンシップに参加させていただいております、神戸大学2年の平手陸翔(ひらてりく)と申します。大学では経営学を学んでおり、将来について考えているときにたまたま見つけたことがきっかけでインターンシップに応募しました。まだまだ分からないことばかりですが、学びを止めない気持ちを人一倍強く持って、少しでも皆様のお役に立てるよう精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願い致します。生年月日：2003年6月17日 趣味：野球観戦、温泉

⑥ 「自己紹介」 インターン生 瀧澤 佳樹

4月より学生インターン生として働かせていただきます、瀧澤佳樹(たきざわよしき)と申します。関西学院大学大学院理工学研究科に所属しており、情報工学を専攻しています。就職活動中に企業の課題解決をするコンサルタントに興味を持ち、応募しました。インターンでは、社会人として必要なスキルやコンサルタントに求められる能力を学び、一日でも早く仕事を覚え、会社に貢献できるよう日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

生年月日：1999年8月28日 出身：三重県 趣味：読書、ツーリング、筋トレ



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX 高麗橋ビル5階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp



⑤ 「主語を何と言っているか？」 マネージャー 木戸 貴也 (中小企業診断士)

社内での会議や打ち合わせ時など、自分自身の主語は何を使っているのでしょうか。「わたし」、「ぼく」などの一人称単数になっていないでしょうか。また、仕事のことで考え事をする際にも主語が一人称単数となっていないでしょうか。

特に経営者や管理職、リーダークラスの方で心当たりがあるのであれば、意識をして「私たち」や「我々」のような一人称複数の主語で考える、話すクセを身に付けてください。

私は、「自分たち」をよく使う気がします。「自分たちは何をすべきか」、「自分たちはどうあるべきか」などです。前職でもそうでしたが、リーダークラス以上で主語が一人称単数で話す方の話はあまり受け入れていません。会社全体、組織全体を考えると「わたしは、～」や「ぼく、～」を主語にして物事を考えている方の話の内容や考えに対する価値が無いと考えているからです。会社、組織の話をする際、常にリーダークラス以上は「私たち、～」、「我々は、～」でなければなりません。

また、今はスタッフ職や平社員などでもこれからリーダーや管理職を目指している方は、自分の主語が何になっているかを意識して仕事に取り組んでみてください。例えば、今までは不満に感じていたことも見え方や捉え方等が変わってくるのではないのでしょうか。



⑥ 「1年目を振り返って」 ビジネスアナリスト 杉本 貴弘 (中小企業診断士)



昨年4月に入社してから1年が経ちました。この1年間で、ものづくり補助金や事業再構築補助金などの補助金申請のご支援や、顧問先様へのご支援、最近では経営改善計画書の策定をサポートし、バンクミーティングを開催するなど、様々な業務に携わることができました。最初の頃は時間が掛かっていた作業も、少しは早くなったでしょうか。この1年間では仕事に慣れたというよりは、生活スタイルや環境の変化に慣れたという感じがします。今年の上半期は学びをテーマにしており、複数の資格取得を目標とし、興味のある分野や業務に活用できそうな事を勉強しています。これからも知識と経験を糧に、毎日少しずつでも成長し、皆様のお役に立てるよう努力してまいります。

⑦ 「情報を正しく理解することの大切さ」 ビジネスアナリスト 伊藤 侑加



最近ニュースで話題になっている ChatGPT を利用してみました。利用時はメールアドレスの登録だけでよく、思ったよりも簡単に利用することが出来ました。いくつか質問をしてみたところ、想像していたよりもすぐに回答が貰えるのでとても楽しいシステムでした。

一方で、誤った内容の回答をしている事例も多くありました。また、現状、公式版のスマートフォン向けのアプリはありませんが、既に複数の企業から類似のアプリが公開されていました。個人情報や抜き取るアプリも紛れているかもしれませんので、注意が必要です。あらゆる情報がインターネット検索やSNSで手軽に入手出来る時代ではありますが、「ネット上の情報が正しい」とは思わずに、情報を見極め、正しく活用することが大切だと改めて実感しました。

大阪環状線の大阪駅の隣の駅は？

大阪環状線の大阪駅の隣の駅は、時
おおさか東線の大正駅となります。反時
おおさか東線の森ノ宮駅となります。

⑧ 「最適」 ビジネスアナリスト 橋本 大治



先日、ある経営者の方から非常に考えさせられるお話をいただきました。組織が大きくなると発生する問題として、最適と最適がぶつかるというお話しでした。最適には「個の最適」と「集団の最適」、「全体の最適」があり、「個の最適」は楽に走る事等であるため、他者に対して説得力がなく拒否がしやすい。

しかし、「集団の最適」例えばチーム単位等、一定の人数が集まった集団における最適追求の場合、所属員(他者)のためという正義が働くため、全体(会社)の最適と相反することがあると不和を生むとおっしゃっていました。確かに当社も人数が増えてくるにつれて効率性といった集団の最適とお客様満足等、会社にとって追究すべき最適が対立するケースを見受けられることが増えだしました。改めて自身の行動の目的が何に対する最適なのかを考えながら、会社の最適化に向けて経営理念や方針に沿った適切な判断を行えるよう気を付けようと思いました。



株式会社フラッグシップ経営 Facebook ページ
👍 いいね! お待ちしております。



株式会社フラッグシップ経営 Twitter
@flagship_keiei にて随時情報発信中!

③ 「日本一を見て」 ビジネスアナリスト 秋定 皇輝



先日、私情で東京に行く機会がありました。新幹線で行ってきたのですが、復路で初めて車内から富士山を見ることができました。見たいとずっと思っていたのですが、いつもタイミングよく夢の中…、念願叶って車窓からの富士山を体験できました。日本一の山を見て思ったのですが、不動の威厳さを有した崇高な山は何者にも負けない雄大を誇っていました。

長尾＝当社の目標が「日本一の中小企業診断士事務所を作る」なのですが、日本一の頂から見る景色は麓から見る景色とは比べ物にならないことは容易に想像が付きまします。ですが、目標に近づいていく中で、私は微力にも及んでいないと反省すると同時に、心改めて邁進しようと思いました。



④ 「自然でリフレッシュ」 ビジネスアナリスト 江口 京



5月は新緑が美しい季節です。自然が美しく彩られるこの季節には、気持ちも前向きになります。関西ではツツジやネモフィラ、藤など花が見ごろの施設も多く、SNS等でも投稿を多く見かけます。この時期はGWや母の日などイベントも多く、仕事や学校で忙しい日々を送っている中で、家族や友人と綺麗な景色を探して気持ちをリセットしたいと思います。仕事においても、新たなスタートを切る時期として5月は重要な月です。

弊社にもインターンシップ生がたくさん入ってきてくれて、何をどう伝えればいいのか、分かりやすい教え方とは日々考えながら業務を行っています。自然の美しさに感動しつつ、前向きな気持ちを持って、仕事に取り組んでいきたいです。

⑤ 「自分の認知を過信しない」 ビジネスアナリスト 杉原 千尋

事実と解釈は異なるものですが、これらはしばしば混同されがちではないでしょうか。事実は実際・現実にあった事柄のことで、人はその事実を受けて文章や物事の意味を解こうと（解釈）する。

しかし理解（解釈）の過程で「～ではないか?」「～のはずだ」と自分の「こうあってほしい」という願望が混じり、事実が解釈で加工・装飾されてしまいます。事実／と解釈が混ざった場合、動詞——状態を示す「状態動詞」を除き、動作を示す「継続動詞」「瞬間動詞」で表すことができるか、を基準に考えるのが一つの手です。「言う」「書く」「読む」などの動作は誰が見ても事実として受け取れます。事実と解釈の切り分けは意識的に行わない限り自然と出来るものではないため、十分に注意していきたいです。



⑥ 「訪問することの大切さ」 ビジネスアナリスト 梶本 啓嗣



先日、以前ご支援させていただいたお客様を訪問する機会がありました。以前お伺いした際には、補助金申請のご支援をさせていただき、今回も補助金の申請に関してのお打ち合わせを行いました。約2年ぶりの訪問となりましたが、補助金で取得した設備が順調に稼働し導入前の課題を解決しただけでなく、事業拡大に伴い工場も増築されているなど事業者様の成長ぶりに驚かされました。

また、自分がご支援した計画で導入された設備の実物を見ることができ、性能や使い方なども知ることができました。コロナを機に、なかなか近場であっても訪問することを避ける傾向にありましたが、直接お伺いして実感できるものや経験できるものがあると改めて気付かされました。

⑦ 「モチベーターになっているのか」 経理・総務 松野 あやか

皆さん、モチベーターという言葉をご存知でしょうか。モチベーターとは、会社や組織のメンバーのモチベーションを上げる・やる気を引き出す人のことを指します。私は、最近、人に何か教える・伝える際は、相手に対してやる気をアップさせるよう、伝えることを意識しております。相手はせっかく提案や声をかけてくれているのに、私自身が、その人のやる気を失わせ、その人の仕事に対するやりがいを失わせてはいけないと思っております。相手に物事を伝える前に、自分で一度、立ち止まってこの伝え方で大丈夫なのか、この言い方は、職場の雰囲気向上に繋がっているのかを意識することが大切だと思っております。相手に伝えるまでに考え過ぎて、自分が本当に伝えたいことは何なのかと分からなくなってしまう時がありますが、その時は、自分は今どこで伝え方に詰まってしまったんだろうと反省し、改善に向けての取り組みをメモし、反省&改善を繰り返しております。また、相手を変えるのは難しいので、まずは自分の伝え方や接し方を変えていく必要があると思っております。



発行元：株式会社フラッグシップ経営 経営革新等認定支援機関

〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3丁目2-7 ORIX 高麗橋ビル5階

TEL：0120-34-8776

FAX：06-7635-8214

MAIL：info@flagship-keiei.co.jp

URL：www.flagship-keiei.co.jp

